

2024-2025

Rotary

第2760地区 豊橋ゴールデンロータリークラブ

WEEKLY

例会場 事務局
 ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131
 豊橋市藤沢町141
 ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室
 TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743
 http://www.toyohashi-golden-rc.jp
 email golden@toyohashi-golden-rc.jp

ステファニー A. アーチック会長

吉川公章ガバナー

本多英司会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

THE MAGIC OF ROTARY

魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動
成長するロータリー

選ばれるブランドを育てよう

第 38 回 (通算 1696 回) 例会報告		令和 7 年 4 月 18 日 (金)	ラーニング担当例会
ゲ ス ト	豊橋技術科学大学 学生 ハサン モハammad タンヴィルさん		
出席報告	総会員数 59 名 (計算会員数 57 名) 欠席 7 名 出席率 87.72% 前々回修正出席率 98.11%		
歌/会場	かがやく空	会場：ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30～	

会長の時間



本多英司会長

みなさんこんにちは。

先週は二川宿、駒屋さんでの「春を感じる例会」にたくさんのご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。暖かい春の陽気、歴史を感じる建物のとても良い雰囲気、ヴァイオリンとピアノでの春の楽曲の演奏、川辺のきれいな葉桜、しっかりと春を感じさせていただきました。日々の喧騒の中、たまにこうして季節をゆっくり感じる事ができるのは、とても素晴らしいことです。企画して頂いた高橋プログラム委員長、設営していただいた親睦委員会のみなさまに感謝いたします。ありがとうございました。

春を感じる例会の後、そのままの会場で第 10 回目となる理事会を開催しました。

今日の会長の時間では、その駒屋さんで開催された理事会での承認事項について、ご報告させていただきます。

① 5 月 10 日土曜日 RFF

既にご案内の通り、5/9 の例会変更をして 5/10 土曜日に、バスに乗って名古屋栄の RFF に参加します。8:50 ロワジールホテル発・9:10 駅前豊信発で会場に向かい、15:30 頃帰豊予定です。担当幹事は高井さんです。楽しいバスの旅になりますので、みなさんたくさんのご参加をお願いします。

② 5 月 16 日 青少年奉仕担当例会 卓話バージョン

本年度の青少年奉仕のメイン事業は、5/30 金曜日、豊橋市立北部中学校において、「みんなで学ぶ防災教育」を開催します。HUG ゲームというゲームを通じて子供たちに自助・共助・公助などを学んでもらいます。その HUG ゲームというのは、あまりみなさんになじみがないと思いますので、その内容について、豊橋市危機防災管理課から二人のプロフェッショナルをお招きしてお話していただきます。このお二人には、5/30 当日もご協力いただくことになっています。

③ 5 月 23 日 1700 回記念例会

高橋プログラム委員長渾身のプログラムとなります。毎月のように渾身のプログラムがあつて大変だと思いますが、とても頼りになる委員長です。

内容は、以前ご報告したように、元中日ドラゴンズの主力選手であり、メジャーリーグにも在籍された経歴をお持ちである、川上憲伸氏による講演会とします。

一流の人ほど、驕らず、常に学び続けると言います。トップスポーツ選手の成功体験や挑戦の精神は、ビジネスや地域活動にも通じる貴重な学びとなるはずです。1700 回という節目の例会で新たな刺激を受け、クラブの魅力をさらに高めていきたいと考えています。

④ 5 月 30 日 青少年奉仕担当例会 実践バージョン

5/16 の卓話に続き、それを実践する場になります。5/30 13:00 点鐘 13:30～15:30、北部中学校の全校生徒、約 330 人の皆さんと一緒に、ゲームを通じて「防災知識」、「助け合うことの大切さ」を学びます。そしてその学びから、「自分が大切な存在であること」「社会の一員であること」を実感してもらい、健やかな成長の糧となることを期待します。

昨日、北部中学校にご挨拶に行き、堀井校長とお話し、全面的な協力の約束と、大きな感謝の言葉をいただきました。とても良い事業になると思いますので、みなさま是非ご参加お願いいたします。

例会以外の承認事項として、「入会 5 年未満会員学習の件」について承認しました。5 月 23 日金曜日、例会終了後に開催されます。対象の方はご出席お願いします。

それから、新会員について、新たに 2 名の方が推薦されました。この方たちの入会が叶えば、本年度目標とした「8 名の新会員」という目標が達成されます。さらに言うと、この 2 名は女性なので、当クラブの女性会員は 6 名となり、私たちクラブの女性比率は 2760 地区の平均比率を大きく上回ります。そして日本の平均比率をも上回ることとなります。鈴木会員増強委員長はじめ、会員の皆様のご協力に感謝いたします。

新しい会員を迎え、また一つ私たち「らしさ」を育て、魅力あるクラブを育てていきたいと思っておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

以上、理事会承認事項の報告でした。

今日はさらに、今週月曜日に行われた東三河分区親睦ゴルフ大会についてご報告をと思ったのですが、時間の関係で、トピックだけ。3つ。

1. 総勢約 120 人の参加者中、女性会員は加藤ゆり子さんだけでした。紅一点とても目立っていました。
2. 高井さんの調子が良く、ポイントゲッターとして活躍されました。
3. 杉田さんがなんとハーフ 36 で回りました。素晴らしいです。

今年度当クラブからの参加者は 9 名でしたが、来年はもっと大勢で参加して、もう一度優勝を目指したいと思います。みなさん楽しく頑張りましょう。

以上、会長の時間でした。ご清聴ありがとうございました。

誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます！



岡本久永会員 鷹巣太地会員
加藤ゆり子会員 後藤浩司会員

入会記念日祝い



神谷 馨会員 廣中雅章会員

ロータリーの友読みどころ



白井正樹雑誌委員

■横組 7 頁 4 月は環境月間としての特集が組まれています。「目指せ！防災の TKB48」という見出しです。この TKB48 と云いますのはトイレ・キッチン・ベッドを避難所に 48

時間以内に整備することを目指した取り組みです。今回は防災に関しては先進国のイタリアと日本の取り組みの違いがレポートされています。8～9 頁にはいろいろな場面での比較が出ていますが、災害多発国のイタリアは国が主導してこのようなシステムを取り入れています。10 頁にはイタリアでは災害支援の民間ボランティ

ア活動を国がバックアップしていることが書かれています。今回の特集は災害による「直接死」ではなく「災害関連死」の問題を取り上げています。「災害関連死」とは避難生活の長期化や医療体制の不備やストレスなどによる健康悪化が原因で亡くなられることです。こうした「避難生活死」をなくすには TKB48 等の支援体制の強化が大きな鍵になります。

■横組 18 頁 THE・PARTNER というタイトルのコーナーでは、今回ロータリーの友編集部の皆さんが米山梅吉記念館を訪問した記事が載っています。この記念館は 1969 年に建設され 2019 年に 50 周年を迎えました。それを機に大きくリニューアルした内容が書かれています。19 頁上の米山梅吉翁の写真がありますがその QR コードをクリックしますと、まるで本人が語っているような誠リアルな映像が出てきます。あとからは是非聞いてみてください。なかなかのものです。

■縦組 4 頁～8 頁 「身近な水から未来の地球を考える」という見出しですが、これは第 2610 地区 IM で総合地球環境学研究所の副所長の谷口真人氏が講演されたものです。地球温暖化による水と人と社会について語られています。大変学術的で格調の高い講演内容です。ご興味ある方はじっくりお読みください。

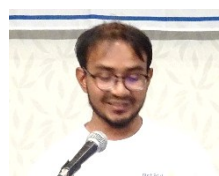
■縦組 9～12 頁 この人を訪ねてのコーナーです。今回は水戸好文 RC の会員の川上美智子さんの紹介です。この方は食品のにおいを研究している「香りの博士」です。茨城キリスト教大学名誉教授で専門はライフサイエンス・食品科学の学術博士でさまざまな食品の香りを研究している先生です。この方の所属する水戸好文 RC は地区で唯一の女性だけのロータリークラブとして 16 年前に創立したそうです。21 人でスタートして現在 16 人。どうやって運営しているのかとの方が気になりました。

■縦組 16～18 頁 友愛の広場の「RI 本部を訪ねて」はシカゴの国際ロータリー RI の本部を訪問した記事が出ています。まだ入会間もない女性ロータリアンの方ですが、こうして RI 本部を見学される心意気が素晴らしいですね。ここに行けばポールハリスにも会えるようです。18 頁の「歌を力に西クラブの歌」では東京西 RC の会員に故藤山一郎氏がいてこの方が作詞・作曲されたのが「西クラブの歌」です。この歌を全国西の字の付く 129 のロータリークラブへ送り、各クラブでも歌い継がれているという記事です。我がクラブにもクラブソング「かがやく空」がありますが、この歌の作詞は初代会長の犬野元三氏、そして作曲は元クラブ会員の倉知立也氏です。

RYLA セミナー報告

ハサン モハammad タンヴィルさん

概要：～持続可能な未来のために～
場所：豊田市福祉センター・アットインホテル豊田市駅
内容：リーダーシップ研修・グループワーク・講演・交流活動





3月1日（土）セミナー1【オンライン】

3月29日（土）～3月30日（日）セミナー2【対面】

学んだこと

- ・リーダーシップとは、聞く力・共感・行動が大切
- ・多様な価値観の中での協働
- ・自分自身を見つめ直す機会にもなった
- ・外国人留学生として良い印象を残すように心がけました
- ・異文化理解の橋渡し役としての役割も実感しました

感想とお礼

- ・一番心に残った瞬間：グループの一体感や感動的なスピーチ
- ・今後もリーダーとして成長し、地域や社会に貢献していきたい学内外でのリーダー活動に積極的に参加国際的なつながりを大切にし、将来の橋渡し役になりたい
- ・ロータリーの活動にも引き続き関わっていきたくて考えています

このような素晴らしい経験をさせていただき、心より感謝申し上げます



ラーニング担当例会



高井龍雄ラーニング委員長

皆さん、こんにちは。ラーニング委員会、委員長の高井です。

昨年RIの研修方針がトレーニング（研修）からラーニング（学習）に転換されました。当クラブも、ロータリー情報委員会からラーニング委員会へと名称変更しました。

当、委員会も単に名称だけが変わったので無く、役割全てについてもラーニングして参りました。

本年度クラブ方針「選ばれるブランドを育てよう」に基づき、クラブフォーラム、ファイヤーサイドミーティング（来週から2回目）並びに5年未満会員学習会、新会員へのインフォメーション等。

会員がロータリーの歴史や目的、組織運営、奉仕活動をラーニング（学習）する機会を設けて参りました。

そして会員がロータリーを自ら学ぶクラブの雰囲気作りを目指して参りました。本例会は改めて共にラーニング（学習）した事のまとめとしてラーニングしたいと思います。

どうぞ宜しくお願いします。

ロータリーとロータリークラブ、ロータリアンの区別 RI と地区とクラブの関係

ロータリーの歴史



福沢省吾ラーニング副委員長

皆さん、今日は。本年度ラーニング委員会副委員長の福沢です。どうぞよろしくお願い致します。

実は1ヶ月前の出来事ですが、WEEKLY に載っていた本多会長の

浜田川桜回廊の記事を大変懐かししく読み、当時の会員やクラブ活動を思い出しました。また本年度の私のネームプレート番号が46から8になり、改めてクラブ入会から36年の月日が経ったことに感慨を覚えます。

このような状況の中、私は高井委員長と「今、クラブは世代交代期にあり、善き伝統を伝承するタイミングである」ことや「本年度ロータリー情報委員会からラーニング委員会へ名称変更した意義」などを幾度となく話し合ってきましたので、今日の例会テーマが「36年未満会員学習～みんなで「ロータリーとは何か」をラーニングしよう～」になったのではないかと思います。

さて、私の担当テーマは「ロータリーとロータリークラブとロータリアンの区別」、「RI と地区とクラブの関係」、「ロータリーの歴史」ですが、時間の都合上、配布資料に基づき骨子のみをお話しさせていただきます。

最初は「ロータリーとロータリークラブとロータリアンの区別」です。

豊橋ゴールデン RC は、1988年7月28日にスポンサークラブの豊橋 RC により RI へ加盟申請し、10月28日に創立総会を開催、11月17日に認証状の交付を受けて、翌年3月19日に盛大なチャーターナイトを挙行了しました。

この加盟により、クラブは RI の定款・細則の順守を受諾し、45名のチャーターメンバーは、ロータリーの目的の受諾と定款・細則を順守し拘束されることを受諾したのです。

このテーマで大事なことは「ロータリーには定款・細則というルールがあり、会員には定款・細則に則った活動をする義務がある」ことです。

次は「RI と地区とクラブの関係」です。

RI 定款2条はクラブに対して直接監督権があると定めており、一方クラブ定款11条はクラブには自治権があると定めています。

この一見すると矛盾するものと思われるこれらの規定は、RI とクラブがお互いにリスペクトし、RI が地区を通してクラブへ行うロータリーの奨励や指導に対し、クラブはロータリーの目的とクラブの実情に照らし是々非々の対応で調和できるのです。

このテーマで大事なことは「クラブは RI の下部組織ではない、RI とクラブは対等の関係にある」ことです。

最後のテーマは「ロータリーの歴史」です。

「ロータリーとは何か」を考えるにはロータリーの歴史を学ぶことが肝要であり、その歴史の中で中核に位置するのが「決議 23 - 34」と「定款 5 条ロータリーの目的」です。

この「決議 23 - 34」と「ロータリーの目的」は、手続要覧を読むだけで理解するのは経験上難しいと思います。「決議 23 - 34」と「ロータリーの目的」を理解するには 1905 年のロータリー創立から 1927 年の間に確立したロータリーの奉仕理念、組織原理、実践原理とロータリーの標語「超我の奉仕」、「最も奉仕する者、最も多く報われる」の共通点である『他者への思いやり』をラーニングすることです。

そしてこれらをラーニングすると「ロータリークラブは奉仕団体ではない、奉仕を志す人の集まりであること」、「例会は会員が奉仕の理念を学ぶ場であること」、「クラブが行なう奉仕事業は会員が日常生活で行う奉仕活動の訓練であること」を理解できます。

いずれにしても、RI は会員へ「意義ある事業の基礎に奉仕の理念を置くこと」を奨励し、会員は入会時に RI の奨励を受容し、「例会で親睦を通して奉仕の理念を学び」それを「家庭生活、職業生活、社会生活で育むこと」を、拘束されている」のです。

これは、本年度のクラブ方針「選ばれるブランドを育てよう」の源泉であり、豊橋ゴールド RC が未来永劫輝き続けるには、会員一人ひとりが『奉仕の理念とロータリーの目的』をラーニングすることが大事であります。

ちょうど私に与えられた時間になりました。
ご静聴ありがとうございました。

ロータリークラブ地区ガバナー補佐としての体験



大須賀憲太ラーニング委員

ロータリークラブにおける「**所属クラブ第一主義**」と地区行事・寄附の整合性

ロータリークラブには「**所属クラブ第一主義**」という原則があります。これは、各会員がまず自分の所属クラブの活動を優先し、クラブの発展に貢献することを基本とする考え方です。ロータリークラブは、全国組織を持つ（世界組織も同様）一般的な組織と異なり、ピラミッド型ではありません。まして、地区や、国際ロータリーが上位団体ではありません。そもそもシカゴに初めてロータリークラブが誕生し、全米から全世界に広がった歴史から見ても、それは理解できると考えますし、各クラブは広範な自治権を有しています。しかし、だからといって地区行事や寄附が不要というわけではなく、「所属クラブ第一主義」を強化するためにも、地区活動とのバランスをとることが重要です。

1. 地区行事はクラブ活動を豊かにする

(1) 所属クラブの発展につながる学びの機会

地区大会や研修会に参加することで、他クラブの成功事例やロータリーの最新情報を知ることができます。これは、所属クラブの運営や奉仕活動の充実に役立ちます。例えば、あるクラブで成功した地域奉仕プロジェクトを参考にし、所属クラブで応用することができれば、そのクラブの活動の幅が広がります。私もガバナー補佐として東三河 13 クラブを訪問して、それぞれのクラブが想像以上に異なる活動をし、例会運営も異なることに驚きました。

(2) 会員同士のネットワーク強化

地区行事に参加することで、他クラブの会員と交流し、新しいアイデアや協力関係を築くことができます。結果として、所属クラブの活動がより活性化し、会員同士のモチベーション向上にもつながります。当クラブにも素晴らしい会員がたくさん在籍していますが、他クラブには通常お会いできないような素晴らしい会員がたくさんいます。県外や、他国とのロータリアンとの交流ももちろんですが、せめて地区、区内、お隣のクラブの例会にメイキャップする事でも、新たな発見が得られることでしょう。私も若いころは、多くのクラブにメイキャップで

お邪魔しましたが、この辺のノウハウは我がクラブの広濱会員にお聞きすると良いと思います。

2. 寄附は所属クラブの理念を体現する手段

(1) 所属クラブの活動とロータリー財団の寄附は両立する

所属クラブの運営費とは別に、ロータリー財団や地区の基金に寄附することは、ロータリーの精神である「超我の奉仕」を実践する一つの方法です。自クラブの活動だけでなく、より広い視野で社会貢献を考えることが、結果的にクラブの理念を強化することにつながります。

(2) 所属クラブの目標と整合性を持たせる

寄附を強制するのではなく、所属クラブとしてどのような貢献をしたいのかを話し合い、クラブの目標に沿った形で寄附を進めることが大切です。例えば、あるクラブが教育支援に力を入れている場合、奨学金プログラムへの寄附を優先するなど、クラブの方向性と一致した支援が可能で

3. 「所属クラブ第一主義」を守りながら地区活動と関わる方法

- **優先順位を明確にする**：所属クラブの例会やプロジェクトを最優先し、その上で地区行事や寄附を「クラブ活動を高める手段」として活用する。
- **会員に適した参加の仕方を提案**：忙しい会員にはオンライン参加の機会を増やしたり、短時間で学べる研修を紹介するなど、無理のない関わり方を考える。
- **寄附の目的を共有する**：クラブ内で「なぜ寄附をするのか」「どのような影響があるのか」を明確にし、会員が納得した上で自主的に参加できる環境を整える。



4. まとめ

「所属クラブ第一主義」は、クラブが自主性を持ち、独自の活動を大切にするための原則です。しかし、それは地区行事や寄附を否定するものではなく、むしろクラブの成長を促すために、適切な形で活用すべきものです。

「所属クラブを第一に考えながら、地区活動を上手に活用し、より良いクラブ運営と奉仕活動につなげる」ことは、ロータリーでの学びを各会員企業に還元すること、ひいては各会員自身の成長につなげることが、ロータリーの理念を実現する最善の方法ではないでしょうか。

ロータリークラブのルール



高井龍雄ラーニング委員長

最後にロータリークラブのルールとして担当させていただきます。私も...お恥ずかしながら入会して4年全くロータリーの勉強もしなければルールさえも知らないポンコツ会員でした。ですから5年目にして初めて親睦活動委員長が回って来ました。最近では入会3年目にして4大奉仕委員長をやられる新しい会員さんは本当に優秀だと思います。

それではロータリークラブのルールを私の経験の元、理解した形でお伝えしたいと思います。

それではロータリークラブのルールを私の経験の元、理解した形でお伝えしたいと思います。

1つ目

ロータリークラブの会員の義務。

3大義務とは。

- 1 会費支払
- 2 例会出席
- 3 ロータリーの友 購読

2つ目

例会出席に伴いメーキャップについて。

メーキャップには2種類あります。

- 1 他クラブへの例会出席
- 2 他クラブへの例会に出席しないでサインによる出席率について。

ホーム出席 30% (半期)

メーキャップ 50% (全期)

両方の達成が必要となります。

又、4回連続欠席で1度もメーキャップしてない場合は自ら退会宣告をされてる扱いになってしまいますので気をつけてください。

是非、本年度ホーム 100%または修正 100%を達成したいですね。メーキャップを忘れずに。

3つ目

例会変更について。

先ずは、例会場のホーム (RI に登録してある例会場) はロワジールホテルであること。やもえなくホテルの改修工事や夏のスカイピアガーデンやイベントで使えない理由や又、例会プログラムの主旨や規模、演出上の理由があって理事会承認があって例会変更があります。

最後に私もロータリーを自発的に学ぼうと思ったのは、委員長を受けて初めて勉強しました。特に4大奉仕の委員長になると理事会メンバーになりロータリークラブの仕組みやルールも良く知れる位置になります。

本年度のラーニング委員会が目指して来た事は、お一人お一人の会員の皆さまが自発的に学ぼうと思えるクラブの雰囲気づくりです。皆さんがハイ！喜んで委員長を受けて頂ければクラブのブランドはもっと輝くと思っております。

本年度、クラブフォーラムやファイヤーサイドミーティングで皆さんが語ったことこそがラーニング (クラブの学びの元) です。

今後も皆さんで更にラーニング (学習) して行きましょう。

本日はありがとうございました。



★ニコボックス

本多英司・鬼頭秀幸：高井委員長、福沢副委員長、大須賀会員から今一度しっかり学びたいと思います。

岡本久永・加藤ゆり子・

鷹巣太地・後藤浩司：誕生日をお祝い頂き。

神谷 馨・廣中雅章：入会記念日をお祝い頂き。

太田和彦：RYLA セミナー報告をして頂くハサンさんを紹介させて頂き。

牧 岳大：ハサンさんようこそ。RYLA セミナー修了おめでとうございます。セミナーでの体験がハサンさんの今後の人生にとって有意義であったこと願っております。

白井正樹：ローターの友読みどころを紹介させて頂き。

牧野政雄：出席報告をさせて頂き。

高井龍雄・福沢省吾・

大須賀憲太：担当例会です。ラーニング委員会メンバーそれぞれが持つ知識、情報、経験或いは考え方を改めて学習 (ラーニング) したいと思います。よろしくお願い。

山口幹夫：例会参加の支援に感謝します。

鵜殿健次：元気ですか！我が愛しのドラゴンズ単独最下位脱出しました。これからです。がんばれドラゴンズ。

伊藤角栄ニコボックス委員

★幹事報告

・ガバナーノミニー・デジグネート (2027-28 年度ガバナー) 選出の報告、ハイライトよねやまが届いております。